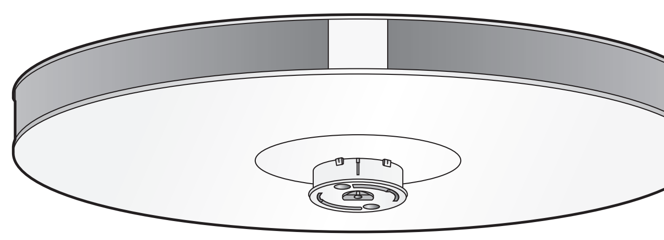
Panasonic

取扱説明書

ワイヤレススピーカーシステム

品番 SC-LT205



●取付金具を設置する際は、販売店または工事専門業者にご依頼ください。
●取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(裏面に記載)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

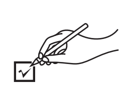
保証書別添付

パナソニック株式会社　ホームエンターテインメント事業部
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2013

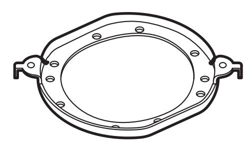
VQT5D47-5
F0713QK5044

付属品



付属品をご確認ください。
付属品の品番は2013年7月現在のものです。変更されることがあります。

- □ リモコン：1 個
- □ リモコン用乾電池(単 4 形乾電池)：2 本
- □ 取付金具：1 個 (品番 REQ0399)



- □ 取付金具用本体止めねじ：2 本 (品番 RHD35002)
- □ ワイヤレス送信機 (Bluetooth® トランスミッター)：1 個 (品番 RFE0268)
- □ AC アダプター：1 個 (品番 VSK0771)
- □ DC ケーブル：1 本 (品番 K1HY05YY0138)
- □ 音声接続コード：1 本 (品番 K2KYYYY00233)
- □ 変換コード：1 本 (品番 K2KYYYY00239)

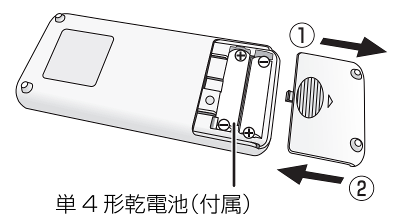
- リモコンの紛失、故障時は
  紛失や故障等で、新たにリモコンをお買い求めになる際には、無線方式リモコンによる、本機への登録が必要です。リモコンの登録については、出張サービスや、本機をご持参いただいて実施させていただきますので、販売店、もしくは修理ご相談窓口(裏面「保証とアフターサービス」をご参照ください。)にご依頼ください。
- ACアダプターとDC ケーブルは本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

CLUB Panasonic
Pana Sense

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

リモコンの準備



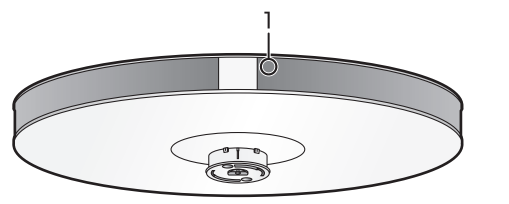
単 4 形乾電池(付属)

① リモコン裏面のふたを軽く押し、下方向にスライドさせながら開ける
② ふたを閉めるときは、ふたを上方向にスライドさせ、「カチッ」と音がするまでまっすぐ差し込む

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

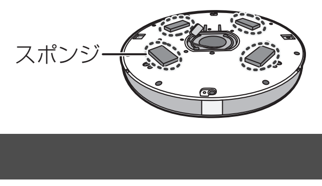
各部の名前と働き

本体

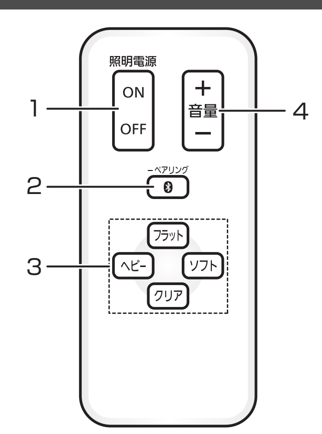


1　**表示ランプ**
赤色に点灯： スタンバイ
Bluetooth® 接続待機中
緑色に点滅： Bluetooth® 登録待機中
緑色に点灯： Bluetooth® 接続完了

※本機天面に 4 か所付いているスポンジは取らないでください。(本機回転防止のため必要です。)



リモコン

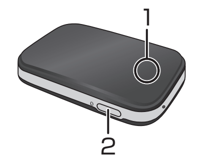


1　**照明電源を OFF/ON する**
- 照明器具の状態により、このボタンでの操作が働かないことがあります。

2　**Bluetooth® 登録、ペアリング待機をする**
3　**サウンドモードを設定する**
サウンドモードが変更できます。お好みに合わせて変更してください。(初期設定は「フラット」です。)
4　**音量を調節する**
- 音量が最大または最小になると、電子音が鳴ります。

- リモコンは無線方式です。ご使用の際は本機と約 7 m 以内の距離で操作してください。(本機に向けなくても操作できます。)ただし、間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能範囲が狭くなります。

ワイヤレス送信機



1　**状態表示ランプ**
ゆっくり点滅： 接続待機中
速く点滅： 登録待機中
点灯： 接続完了
2　**Bluetooth® ボタン (ᛒ)**

※ワイヤレス送信機に電源ボタンはありません。

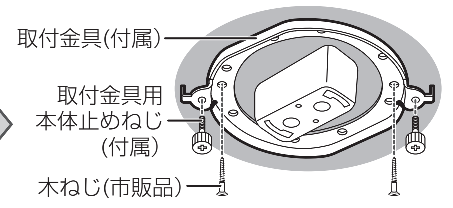
スピーカー本体を取り付ける

- 安全のため、照明器具の壁スイッチを切ってから行ってください。
- 照明器具の取り外し方については、照明器具の説明書をご覧ください。

1　天井に付いている配線器具を確認し、取り付けの準備をする
取付金具を設置する際は、販売店または工事専門業者にご依頼ください。

天井に下図のような配線器具が付いている場合は、付属の取付金具の取り付けが必要です

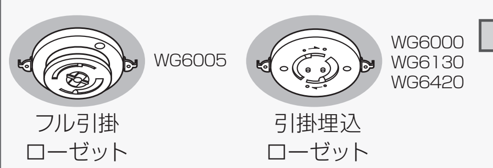
補強材のある場所に木ねじで取付金具を取り付け、取付金具用本体止めねじ(2本)を3回転ほどねじ込む



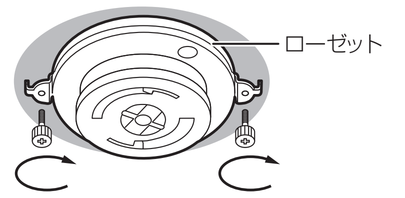
角型引掛シーリングが取付金具のほぼ中央にくるように取り付けてください。取付金具の端にくるように取り付けると、プラグ(右記手順5「プラグを接続する」で取り付け)が取り付けられない場合があります。

- 取付金具を取り付けるための木ねじは付属していません。別途購入が必要です。
  長さ 40 mm 以上、呼び径 4 mm 相当の木ねじをご購入ください。

天井に下図のような配線器具が付いている場合は、付属の取付金具用本体止めねじの取り付けが必要です



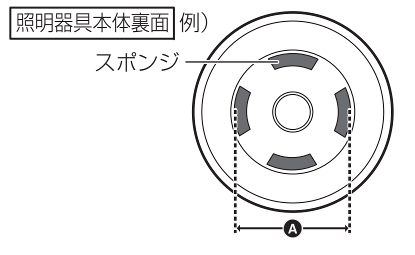
ローゼットに取付金具用本体止めねじ(2本)を3回転ほどねじ込む



- 上記以外の配線器具の場合、または配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

2　本機に別売の拡張アダプター(SH-KLT200-W)を取り付ける(大型照明器具の場合)

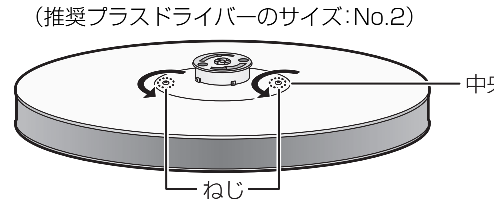
拡張アダプターは、以下の際に本機に取り付けるようにしてください。
- 照明器具本体裏面のスポンジ部分の外側寸法(右図 Ⓐ)が直径 44 cm を超える場合
  – 外側寸法が直径 44 cm 以下の場合は、取り付ける必要はありません。
  – 拡張アダプターが使用可能なスポンジの最大外側寸法は直径 52 cm までとなります。
- 本機に照明器具を取り付けた際に、照明器具のスポンジが本機と接触しない場合



拡張アダプターの取り付け方は、拡張アダプターの取扱説明書をご覧ください。

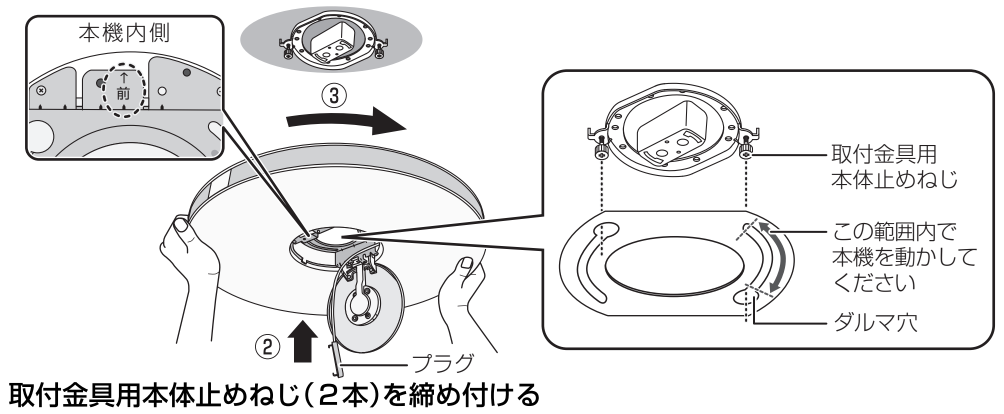
3　本機を取り付ける

① プラスドライバーで、中央のふたに取り付けられている 2 か所のねじを矢印の方向に回して外す
- ねじ頭をつぶさないようにサイズの合ったドライバーをお使いください。
  (推奨プラスドライバーのサイズ：No.2)



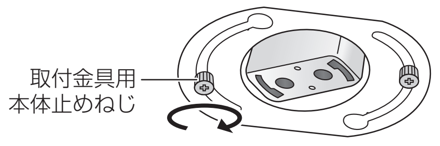
② 取付金具用本体止めねじとダルマ穴を合わせて、本機を押し上げる
表示ランプがお部屋の中で見やすい向きに本機を調整してから、ダルマ穴に取り付けるようにしてください。
- 本機を持ち上げるときは、必ず両手で持つようにしてください。
- 本機中央のふたが開いていますので、お気をつけください。
- プラグは中央ふた側に出すようにしてください。

③ 本機を表示ランプの見やすい位置まで右に回す
- 本機内側「前」の記載の方向に表示ランプがあります。位置調整の際に参考にしてください。



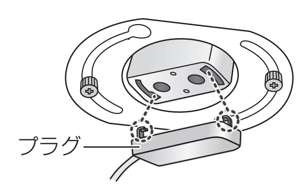
4　取付金具用本体止めねじ(2本)を締め付ける

プラスドライバーを使い、ねじを締め付けてください。



5　プラグを接続する

プラグは右に回し、確実に取り付けてください。
- プラグのコードは中央のふたが閉まるように本機の中に収めてください。



6　本機中央のふたを閉める

プラスドライバーを使い、上記手順 *3* で外したねじを2か所締め付けてください。
- ねじを締め付けすぎないようにお気をつけください。

7　本機に照明器具を取り付ける

照明器具の取り付け方については、照明器具の説明書をご覧ください。
- 本機には重さ 5 kg、最大 500 W までの照明器具を取り付けることができます。
- 照明器具以外は取り付けないでください。

スピーカー本体を取り外す

照明器具の電源を切り、壁スイッチを切ってから行ってください。

1　照明器具を取り外す
2　本機中央のふたを開ける
中央のふたに取り付けられている 2 か所のねじを外してください。
3　本機を支えながら、取付金具用本体止めねじ(2本)をゆるめる
- ねじをすべて外さないようにお気をつけください。

4　プラグを外す
プラグを左に回して外してください。
5　本機を支えながら、左に回して本機を外す
- 本機を取り付けていた場所に照明器具を取り付ける場合は、取付金具用本体止めねじも外してください。

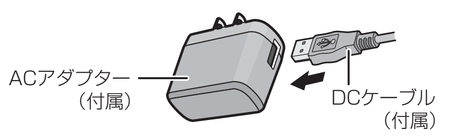
テレビなどの音声を楽しむ

準備
壁スイッチを入れ、本機の表示ランプが点灯、もしくは点滅していることを確認する

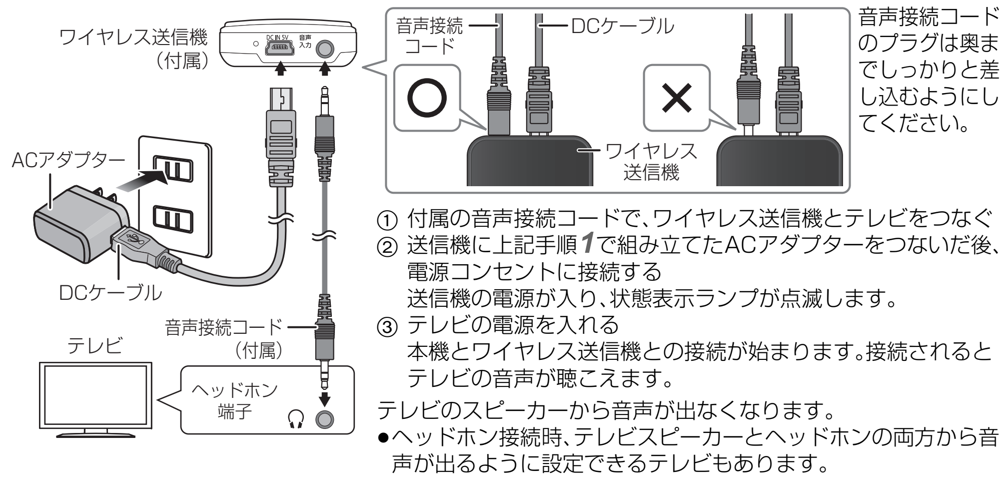
■ **ワイヤレス送信機を設置する**
ワイヤレス送信機には、あらかじめ本機が登録されています。

1　AC アダプターを組み立てる

付属の AC アダプターに付属の DC ケーブルをつなぐ
- 付属の AC アダプター、DC ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。



2　ワイヤレス送信機を設置する

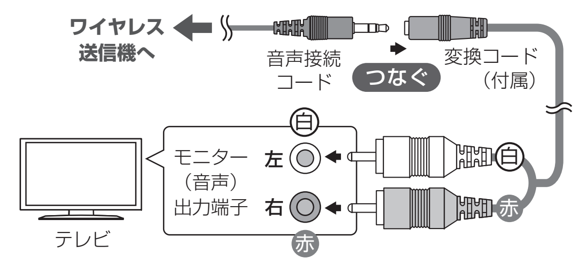


音声接続コードのプラグは奥までしっかりと差し込むようにしてください。

① 付属の音声接続コードで、ワイヤレス送信機とテレビをつなぐ
② 送信機に上記手順*1*で組み立てたACアダプターをつないだ後、電源コンセントに接続する
送信機の電源が入り、状態表示ランプが点滅します。
③ テレビの電源を入れる
本機とワイヤレス送信機との接続が始まります。接続されるとテレビの音声が聴こえます。

テレビのスピーカーから音声が出なくなります。
- ヘッドホン接続時、テレビスピーカーとヘッドホンの両方から音声が出るように設定できるテレビもあります。

テレビからも音声を出すには



テレビにモニター(音声)出力端子があるときは、上記手順①で付属の変換コードを使い、ワイヤレス送信機とテレビをつないでください。
- 出力端子の形状によっては、音声接続コードでつなぐテレビもあります。

本機とワイヤレス送信機の接続がされないときは

1　**リモコンの [ᛒ ーペアリング] を 2 秒以上押す**
表示ランプが緑色に点滅し、登録待機状態になります。

2　**ワイヤレス送信機の [ᛒ] を 5 秒以上押す**
状態表示ランプが速く点滅し、登録待機状態になります。
接続されると本機とワイヤレス送信機のそれぞれの表示ランプが点灯します。
- 接続までに約 30 秒程度かかる場合があります。

本機に他の Bluetooth® 機器を登録する

ワイヤレス送信機に接続している AC アダプターをコンセントから抜いておいてください。

■ **Bluetooth® 機器を登録する**

1　リモコンの [ᛒ ーペアリング] を 2 秒以上押す
表示ランプが緑色に点滅し、登録待機状態になります。

2　Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューなどを開き、機器名(SC-LT200/205)を選ぶ
機器が登録され、接続が完了すると、表示ランプが緑色に点灯します。
- パスキーの入力を要求された場合は、本機のパスキー「0000」(ゼロ４つ)を入力してください。
- 機器によっては、機器名の登録と接続をそれぞれ個別に設定する必要があります。

■ **登録済みの Bluetooth® 機器を接続して音声を出す**

1　Bluetooth® 機器の Bluetooth® メニューなどを開き、機器名(SC-LT200/205)を選ぶ
接続が完了すると、表示ランプが緑色に点灯します。

2　Bluetooth® 機器側で、音楽や動画を再生する

接続を解除する

- 照明器具の壁スイッチを切る。
- お使いの Bluetooth® 機器の電源を切る。
- ワイヤレス送信機に接続している AC アダプターをコンセントから抜く。
- お使いの機器側で Bluetooth® での送信を中止、または無効にする。

お知らせ

- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 本機に登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。(お買い上げ時はワイヤレス送信機のみ登録されています。)
  最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされるため、機器の登録が解除されることがあります。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。
- 本機から聴こえる音声は、実際のテレビの音声よりも若干遅延しています。
- 再生中の映像と音声がずれるときは、壁スイッチを入れ直したり、AC アダプターをコンセントから抜き差しする、もしくは Bluetooth® 機器でお使いのアプリを再起動してください。
- Bluetooth® 機器に付属されている説明書などもお読みください。
- 本機はスタンバイ時に 10 分以上音声出力がないか、操作がないとき、自動的に省電力待機状態になり、電力の消費を抑えます。
- ワイヤレス送信機の消費電力は約 0.5 W です。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機をリセットするには
- **[ON, OFF/照明電源]** の「ON」を5秒以上押してください。電子音が2回鳴り、表示ランプが緑色で点滅し、本機がリセットされます。

音が途切れる / 音が飛ぶ / 雑音が多い
- ワイヤレス送信機を手の平で覆ったりしていませんか。通信が遮断されて、音が途切れることがあります。
- Bluetooth®通信使用可能距離(約10 m)を超えていませんか。本機にワイヤレス送信機やBluetooth®機器を近づけてください。
- 本機とワイヤレス送信機や Bluetooth® 機器の間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 使用していない無線 LAN 機器の電源を切ってください。
- 本機やワイヤレス送信機に接続した機器によっては、音割れや雑音が発生することがあります。そのときは機器側の音量を下げてください。
- 本機の通信モードの設定を変更してみてください。
  音が途切れる場合は、「接続性重視モード」にしてください。音が途切れにくくなります。ただし、映像と音声のずれが「音質重視モード」よりも大きくなります。(初期設定は「音質重視モード」です。) 無線電話、無線 LAN ルーターなど、本機に妨害を与えるような無線機器が周囲にない場合は、「音質重視モード」に設定してみてください。より高音質な音声を楽しむことができます。
  – 「接続性重視モード」にするには、リモコンの **[ᛒ ーペアリング]** を押しながら、**[ヘビー]** を 5 秒以上押してください。モードが変更されると、電子音が 2 回鳴ります。
  「音質重視モード」にするには、リモコンの **[ᛒ ーペアリング]** を押しながら、**[フラット]** を 5 秒以上押してください。モードが変更されると、電子音が 2 回鳴ります。
  ・ モードを変更したときに、Bluetooth® 機器によっては接続が解除される場合があります。その際は再度接続してください。

本機から音が出ない、音が小さい
- 音声接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- テレビ側でも音量を調整してください。
- テレビにシアターシステムを接続していると、テレビからの音声がワイヤレス送信機に出力されないことがあります。そのときは、シアターシステムの電源を切ってみてください。
- 壁スイッチを入れた直後や設定変更時は、本機から音が出るまでに約30秒程度かかる場合があります。しばらくお待ちください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されないことがあります。その場合、本機の通信モードを「接続性重視モード」に設定することで改善される場合があります。

本機とワイヤレス送信機が無線接続されない
- 本機やワイヤレス送信機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。それでも接続されないときは、本機とワイヤレス送信機の登録をやり直してください。

他の Bluetooth® 機器と無線接続されない
- 機器側の説明書をご覧になって、再度接続を行ってください。
- 他の Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。
- Bluetooth®機器のBluetooth®メニューなどから本機の登録情報をいったん消去し、機器の登録をやり直してください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない
- Bluetooth® 機器によっては、音声出力を本機に設定しないと音が出ないものがあります。Bluetooth® 機器の説明書などをお読みください。

本機が正常に動作しない / 表示ランプが赤色で点滅する
- 本機に問題が生じています。壁スイッチを切り、しばらく待ってから、壁スイッチを入れ、本機を使用するようにしてください。

ワイヤレス送信機の状態表示ランプが非常に速く点滅する
- 状態表示ランプが非常に速い点滅(1 秒間に 6 回)をする場合は、ワイヤレス送信機に接続している AC アダプターをコンセントから抜いてください。

著作権など

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
  他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。
- aptX® software is copyright CSR plc or its group companies. All rights reserved.
  The aptX® mark and the aptX logo are trademarks of CSR plc or one of its group companies and may be registered in one or more jurisdictions.

仕様

■ アンプ部

実用最大出力	5 W + 5 W (JEITA)
実用最大出力合計値	10 W (同時駆動、JEITA)

■ Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 3.0
送信出力	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル	A2DP (SCMS-T 対応)、SPP
対応コーデック	aptX®、SBC
通信方法	2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m 高さ 1 m の位置にて測定

■ スピーカー部

フロントスピーカー (L/R)

形式	1 ウェイ 2 スピーカーシステム (バスレフ型)
スピーカーユニット	3 cm × 10 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω

■ ワイヤレス送信機

Bluetooth® 部

バージョン	Ver. 3.0
送信出力	Class 2 (2.5 mW)
対応プロファイル	A2DP
対応コーデック	aptX®、SBC
通信方法	2.4 GHz band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m 高さ 1 m の位置にて測定

寸法(幅×高さ×奥行き)	44 mm × 16 mm × 69 mm
質量	約 22 g

■ 総合

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	8 W
スタンバイ時の消費電力 (Bluetooth® スタンバイ / 照明電源 OFF)	通常待機時 : 約 1.4 W 省電力待機時 : 約 0.7 W
AC アダプター	入力 : AC100 V ～ 240 V、50/60 Hz、0.2 A、10 VA (100 V)、13 VA (240 V) 出力 : DC 5 V、800 mA

質量	スピーカー本体 : 約 2.5 kg
寸法(最大外径×厚み)	スピーカー本体 : φ440 mm × 38 mm φ440 mm × 72 mm (突起部含む)
許容動作温度	0 ℃～ +40 ℃ (室温)
許容動作湿度	20 % ～ 80 % RH (結露なきこと)

注 : この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

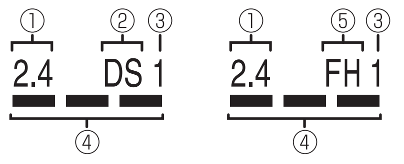
Bluetooth® と無線方式リモコン使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機および無線方式リモコンは 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は認定銘板に記載しています。



① 2.4 GHz 帯を使用
② 変調方式が DSSS方式
③ 電波与干渉距離10 m 以下
④ 2.400 GHz~2.4835 GHzの全帯域を使用
⑤ 変調方式が FH-SS方式

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先 : パナソニック株式会社
パナソニック　お客様ご相談センター

■ 機器認定

本機および無線方式リモコンは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機および無線方式リモコンに以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する
- 本機天面もしくはリモコン裏面にある認定銘板を消したり、はがしたりする

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

本機は見通し距離約 10 m 以内、無線方式リモコンは約 7 m 以内で使用してください。
間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - ・ 電子レンジ
  - ・ デジタルコードレス電話機
  - ・ その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  - ・ 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

本機および無線方式リモコンは一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⃠ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告

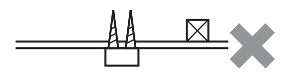
異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには壁スイッチを切り、本体を取り外す
AC アダプターを抜く
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・電源から外して、販売店にご相談ください。

必ず平面部の直径が 780 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

補強のない薄い天井には取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



補強のない薄い天井

取付金具は補強材のある場所に確実に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下してけがのおそれがあります。

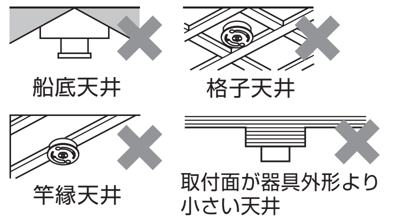
本機に 5 kg を超える照明器具を取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

天井への取り付け強度は 25 kg 以上を確保する
強度が不足すると、落下してけがの原因になることがあります。

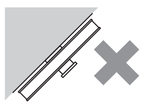
長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する
長期使用により設置場所の強度が不足すると落下してけがの原因になります。

取り付け、取り外し時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意する
転倒、落下してけがをするおそれがあります。

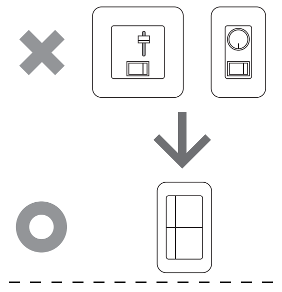
凹凸のある場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



傾斜した場所に取り付けない
火災、落下によるけがのおそれがあります。
- 本機は水平天井面取り付け専用です。

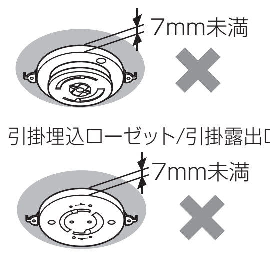


調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。
- 販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

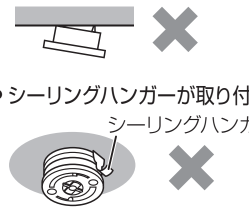


がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

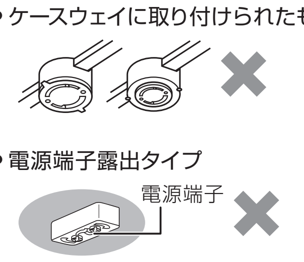
次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 出しろの少ないもの



- 斜めに取り付けられたもの
- シーリングハンガーが取り付けられたもの



- ケースウェイに取り付けられたもの
- 電源端子露出タイプ



コード・電源プラグを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、本体を交流 100 V 以外、AC アダプターを交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

接触禁止
雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

単 4 形電池やねじ類は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

分解禁止
分解、改造をしない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに本機を取り付けない
本機やリモコンからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所に本機を取り付けない
本機やリモコンからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機やリモコンを使用しない
本機やリモコンからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

電池は誤った使いかたをしない
- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

取り付けの際は、専門の構成部品を使用する
機器本体が落下したり、破損して、けがの原因になることがあります。

取り付けたねじが壁内部の金属部や配線部材と接触しないように設置する
壁内部の金属部や配線部材と接触して、感電の原因になることがあります。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- スピーカーは防磁設計ではありません。

コードを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに設置しない
電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

指定の AC アダプターを使う
指定外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く
長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

接触禁止
点灯中や消灯直後は本機にさわらない
やけどの原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに設置しない
火災の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、暖房器具の近くに設置しないでください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	(　　)	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは
「故障かな？」でご確認のあと、直らないときは、壁スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。
本機、リモコン及びワイヤレス送信機を一緒に修理にご依頼ください。

●製品名	ワイヤレススピーカーシステム
●品　番	SC-LT205
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間
●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

※**補修用性能部品の保有期間 6 年**
当社は、このワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター
電話　365日 受付9時～20時
フリーダイヤル　パナは　365日
0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 #」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 Osaka (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話
フリーダイヤル　パナは　イイヨ
0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地域	電話	所在地
北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区		
青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0513

お手入れ

本体をお手入れするときは、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

愛情点検 長年ご使用のワイヤレススピーカーシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、本体を外して、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
PC http://club.panasonic.jp/ 携帯
※このサービスはWEB限定のサービスです。

音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク